

河川愛護モニター活動紹介

夏になり、堤防沿いの植物や動物も生き生きと生命を輝かせています。今回は、モニターのお二人から届いた4月の活動報告をご紹介します。

100年後も親しまれる
梯川でありますように

4月の活動報告

河川敷では雑草とくぐられてしまいがちな植物も緑の葉を伸ばし花を付けミツバチやモンシロチョウを誘っています。ソメイヨシノは散ってしまいましたが、濃桃色の八重桜が満開でした。宮田屋樋管では魚のたてる水音がするので、良く見ると30cmあまりの鯉が何匹も(中には色の付いたものも)居るのが見えました。産卵期であるのか、この季節浅瀬で鯉を見かける機会が多く、私の中では鯉と桜は組みになっている気がします。気候は良くなり釣り人も多くなり川はにぎやかになってきました。女性の釣り師もおられますし、平日ですからどちらかといえば高齢の方が多いのですが、昔の梯川のこと、若い時分は友達と寝ずにこの川へ来ていたことなど色々お話を聞くことができました。どうか、50年後も100年後も豊かな親しまれる梯川でありますように。



平成18年度
梯川河川愛護モニター
井上さつきさん



ハマダイコンの花(井上さん撮影)

美しく変貌する梯川に
魅了されました

4月の活動報告

野草の好きな人にはこたえられない季節になりました。

4月になると草木の成長も旺盛になり、堤防にも色々な花が咲くようになりました。ハマダイコン、菜の花、タンポポ、シロツメクサ、カラスノエンドウ、スイバ、コバンソウ、オオイヌフグリ、ヒメオドリコソウ、スズメノテッポウ、ムラサキケマン等々。まだまだ名前の知らない花がたくさん咲いていて、野草の好きな人にはこたえられない季節ではないかと思えます。特に荒木田町～軽海町地内の左岸一面に咲くハマダイコンの薄紫色と、菜の花の黄色がおりなす景色は一見する価値があると思います。また、昨年3月に国府小学校が環境学習の一環として、古府町地内の梯川右岸工事現場に植栽した柳は、昨年7月の洪水にも耐えて若葉が出てきているのが見られました。



平成18年度
梯川河川愛護モニター
西野 広一さん

梯川手づくり学習館

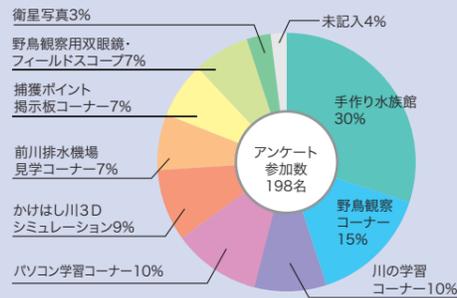
来場者アンケート結果

梯川手づくり学習館では一年を通して様々な行事を行っています。また、行事を行った際には来場していただいた皆様にアンケートの記入をお願いしています。平成18年8月6日(日)に行われた「梯川手づくり学習館オープニングイベント」および平成19年2月25日(日)に行われた「野鳥観察会」でのアンケートを集計いたしました。皆様の意見に耳を傾け、よりよい学習館の運営に役立てたいと考えています。

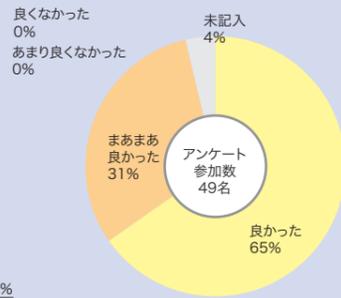


野鳥観察会の様子(学習館3F野鳥観察コーナー)

オープニングイベントでおもしろかった 展示物はどれですか?



野鳥観察会に参加してどうでしたか?



野鳥観察会に参加してどうでしたか?(その他のご意見)

- こんなにたくさんの鳥の名前を初めて知りました。スライドをみなからの説明がとても興味をそそられました。楽しいし納得することもできました。双眼鏡を外を見ると今まで気付かなかったことを発見できました。
- 車から建物は見えていたが、どんな場所か分からず排水機場の役割など初耳のことでした。スタッフのおじさんが皆、面白くてやさしかったです。お天気だし楽しい時間を過ごせました。
- あまり興味がなかったけど、野鳥を近くで見ているみたいで、良かった。
- 立派な設備に珍しい鳥の話も聞いて良かった。

お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課 TEL076-264-8800

小松出張所 TEL0761-23-4000

ホームページ <http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧になれます。



本誌は古紙100%の再生紙を使用しています



環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています

環境にやさしい植物性大豆油インキを使用しています



かけはしがわ



発行:国土交通省金沢河川国道事務所

記憶に新しい平成18年7月豪雨



鍋谷川・梯川合流地点(小松市古府町)



小松市能美町
排水ポンプ車による
排水作業



小松市古府町
積み土の土工実施



小松市千代町
月の輪土工実施

- ◆洪水期前に堤防を点検しました
- ◆雨の多い季節になりました
- ◆平成18年7月洪水 護岸等の災害復旧工事
- ◆河川愛護モニター活動紹介
- ◆梯川手づくり学習館アンケート結果

洪水期前に堤防を点検しました ～「手取川・梯川の重要水防箇所の点検」～

平成19年5月17日(木)に梯川で重要水防箇所の点検を行いました。6月からの洪水期を前に手取川と梯川の国土交通省管理区間における「重要水防箇所」及び「水防倉庫」の点検を関係機関(国・県・市・水防関係機関)が合同で実施し、重要水防箇所の周知・洪水時における水防活動の連携強化を図るものです。梯川では18箇所の堤防や水防倉庫を点検しました。



⑩金屋町左岸堤防を点検



重要水防箇所とは 洪水に際して水防上特に注意を要する箇所。※重要度によって「ランクA」「ランクB」「要注意区間」の3ランクに分類しています。

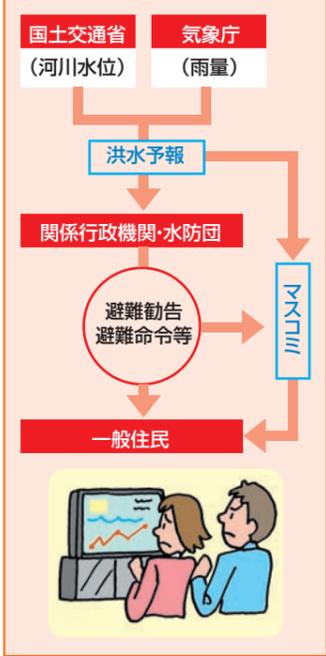
雨の多い季節になりました

わかりやすくなった洪水予報を見て、洪水時の行動を決めよう

雨が降り、河川の水位が上昇した場合、市町村長は河川管理者(国・県)や気象庁からの防災情報、現地での降雨状況や水防団からの情報等を総合的に判断して、避難勧告や避難指示を住民のみなさんに発令します。国土交通省では、市町村や住民のみなさんがとるべき避難行動等との関連が理解しやすいように、洪水予報の標題と水位の名称を洪水の危険に応じてレベル化しました。(平成19年4月19日から実施)災害時は洪水予報を参考に、避難勧告等の情報に注意しましょう。

洪水予報の標題	水位	洪水の危険レベル	水位の名称	市町村・住民に求める行動
梯川はん濫発生情報	(横田水位・流量観測所の場合)	レベル5	▼はん濫の発生	●逃げ遅れた住民の救助等 ●新たにはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導
梯川はん濫危険情報	3.6m	レベル4	はん濫危険水位(危険水位)	●住民の避難完了
梯川はん濫警戒情報	3.0m	レベル3	▼避難判断水位	●市町村は避難勧告等の発令を判断 ●住民は避難を判断
梯川はん濫注意情報	2.5m	レベル2	はん濫注意水位(警戒水位)	●市町村は避難準備情報(要援護者避難情報)の発令を判断 ●住民は、はん濫に関する情報に注意 ●水防団出動
	2.0m	レベル1	水防団待機水位(通報水位・指定水位)	●各水防機関が水防活動に対して準備する水位

河川の防災情報の流れ(梯川の場合)



平成18年7月豪雨の被害箇所を修復しています

平成18年7月豪雨では、梯川で4地区の漏水被害が確認されました。今年また同様な被害がおきないように平成19年2月より災害復旧工事に着手しています。

各地区の被害状況と復旧対応

川辺地区(漏水対策・低水護岸)

被害状況: 堤防漏水の状況, 蛇かご流出状況

千代地区(漏水対策)

被害状況: 堤防漏水の状況

白江・金屋地区(漏水対策・低水護岸)

被害状況: 堤防漏水の状況, 蛇かご流出状況

雨が降ったらこれを見て!! 国土交通省の河川情報サイト

防災情報いしかわ

<http://www.kanazawa-mlit.com/bousai-info-ishikawa/index.html>

(カメラ)をクリックすると

河川の画像を見ることができます

金沢河川国道事務所

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

リアルタイム「川の防災情報」

<http://www.river.go.jp/>

雨量と水位を知りたい場所をクリックすると

河川の水位・雨量がわかります

携帯サイト <http://i.river.go.jp/>

携帯電話から川の情報を見ることができます。どこにいても情報がわかります。

復旧工事の説明

漏水対策は堤防の表面をコンクリートブロックと遮水シートで覆ったり、堤防の下に鋼矢板(鉄の板)を打ち込み、堤防に水が浸透しないような対策を実施しています。この他の箇所についても、コンクリートブロックによる堤防補強などを順次実施していきます。

護岸工

コンクリートブロックと遮水シートにより、堤防への雨水の浸透を防ぎます。

堤防天端の舗装

アスファルト舗装により堤防への雨水の浸透を防ぎます。

堤防土砂置き換え

水を通しにくい粘り気のある土に置き換えることにより、雨水・河川水の浸透を防ぎます。

土砂置き換え

水を通しにくい粘り気のある土に置き換えることにより、雨水の浸透を防ぎます。

根固め工(粗朶沈床)

洪水により河底が低下することを防止します。また、天然の木や石を使用しているため、小魚類や底生動物などの様々な水生生物の生息空間をつくりだします。

遮水鋼矢板

堤防基盤に鋼矢板を打ち込むことにより、河川水の浸透を防ぎます。

堤防漏水ってどんなもの?

長時間雨が続きたり、河川の水位が高い状態が続くと、堤防内の水位が上昇し、堤防の中に水の通り道ができ、堤内(住宅側)にしみでる場合があります。(①・②) また、水が通りにくい粘土層との境界に沿って堤内地側に吹き出る場合もあります。(③)